

## 【NEWS RELEASE】

2021年9月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

デンカ株式会社に「ESG/SDGs評価シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、デンカ株式会社（代表取締役社長：今井 俊夫）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケート・ローンを組成いたしました。

「ESG/SDGs評価シンジケーション」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同いただいた金融機関によって組成されるシンジケート・ローンとなります。

今回のデンカ株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「顧客に対する誠実さ」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲をお持ちであるとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 「2030年度に50%削減（2013年度比）」、「2050年度カーボンニュートラル実現を追求」という中長期のCO2削減目標を設定し、再エネ導入比率の拡大やCO2回収技術（CCUS）、プラスチックを循環利用するケミカルリサイクル技術の実装展開に向けて、研究開発を促進しておられる点
- ② 「品質方針」を策定し、品質マネジメントシステムの認証取得や品質保証体制の整備、顧客満足度調査等を行いながら、品質面での継続的な改善に努めておられる点
- ③ 自社の事業活動に係るESG関連の潜在的リスク（気候変動や海洋プラスチック問題等に関するリスク）について洗い出し、統合レポートの中で開示しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。